

平成31年1月15日

八潮市長 大山 忍 様

八潮市庁舎建設基本計画策定審議会
会 長 作 山 康

八潮市庁舎建設基本計画（素案）について（答申）
平成30年7月5日付け八潮ア発第77号で諮問のあったことについて、当審議会において慎重に調査・審議した結果、下記のとおり答申します。

記

当審議会では、八潮市庁舎建設基本計画（素案）について諮問を受け、施設を利用する市民としての視点に立ち、専門的な見地を踏まえ活発な議論を行い、示された八潮市庁舎建設基本計画（素案）を補完し、修正を加えたうえで答申します。

今後の設計にあたっては、基本計画をもとにさらなる検討により、よりよい新庁舎が完成することを期待し、次のことを要望します。

- ① 今後想定される様々な災害時における対応拠点に相応しい、必要な機能を備えた安全・安心な庁舎となるよう検討していただきたい。
- ② 市民が誇りを持てる魅力ある場所とするため、八潮らしさを建物やその周囲に盛り込む検討をしていただきたい。
- ③ 将来的な人口減少、先端情報技術の進展など、将来を見据えながら様々な変化に柔軟に対応できるよう検討していただきたい。
- ④ 新庁舎の建設に留まることなく、中央公園や八潮メセナとの連携を視野に、新庁舎を含めた市役所周辺が「市民の誰もが気軽に集える賑わいのある場所」となるよう検討していただきたい。